

科目名	担当教員	学期	単位
政治学研究方法（数理分析）	須賀 晃一	前期	2

講義概要

政治学における演繹的アプローチを学び、方法論的観点からその有効性と限界を理解することを目的とする。ゲーム理論に登場する主要な概念を理解し、ゲーム理論を用いたフォーマル分析による政治学研究を進めるための基礎的な知識を身につける。

シラバス

- [第1回] はじめに
- [第2回] 最適化問題の解法
- [第3回] 標準型ゲームとナッシュ均衡
- [第4回] いくつかの代表的ゲーム
- [第5回] 支配戦略とさまざまな均衡概念
- [第6回] 混合戦略
- [第7回] 最適反応とその応用
- [第8回] 練習問題とその解説
- [第9回] 展開型ゲームとサブゲーム完全均衡
- [第10回] Crisis Bargaining Game
- [第11回] 最後通牒ゲームとその応用
- [第12回] 官僚制の分析
- [第13回] 完全ベイズ均衡
- [第14回] Political Liberalization Game
- [第15回] まとめ

教科書

武藤滋夫『ゲーム理論入門』日本経済新聞社
岡田章『ゲーム理論入門』有斐閣

参考文献

数土直紀『自由という服従』光文社新書
梶井厚志『戦略的思考の技術』中公新書
ディキシット＝ネイルバフ『戦略的思考とは何か』阪急コミュニケーションズ
ロバート・ギボンズ『経済学のためのゲーム理論入門』創文社

評価方法

宿題（20％）、試験（60％）、授業への参加・貢献度（20％）

関連URL

<http://www.f.waseda.jp/ksuga/>

備考